

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年5月21日(2020.5.21)

【公表番号】特表2019-519342(P2019-519342A)

【公表日】令和1年7月11日(2019.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2019-027

【出願番号】特願2019-507075(P2019-507075)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/3207 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/3207

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月10日(2020.4.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

血管から血栓を除去するための機械的な血栓除去装置であって、近位端、遠位端および遠位端開口を有するカテーテルと、可撓性チューブを含むトラクタであって、前記可撓性チューブが、前記カテーテル内に延び、前記カテーテルの遠位端開口で反転し、前記カテーテルの遠位端上に延びるものであり、前記トラクタが、前記トラクタの第1の端部が前記カテーテル内で近位方向に引っ張られたときに、前記カテーテルの遠位端開口で折り返されることにより反転するよう構成された、トラクタと、

近位端および遠位端を有するラーであって、前記遠位端よりも近位側にある領域で前記トラクタの第1の端部が連結されるとともに、前記カテーテル内において前記カテーテルの近位端まで延在するラーと、

前記カテーテル、ラーおよびトラクタを通って延び、ガイドワイヤを通すように構成されたガイドワイヤルーメンとを備え、

前記ラーの遠位端と、前記トラクタの第1の端部が連結される前記ラーの領域との間の距離が2mm以上であることを特徴とする装置。

【請求項2】

請求項1に記載の装置において、

前記ラーの遠位端と前記遠位端開口との間にストップをさらに備えることを特徴とする装置。

【請求項3】

請求項1に記載の装置において、

前記ラーの遠位端と前記トラクタの第1の端部との間の前記ラー上にストップをさらに備え、前記トラクタの第1の端部が、前記ストップと係合するまで前記ラー上をスライドするように構成されたスライドリングに結合されていることを特徴とする装置。

【請求項4】

請求項1に記載の装置において、

前記ラーの近位端が真空源に結合されるように構成されていることを特徴とする装置。

【請求項5】

請求項1に記載の装置において、
前記プレーの近位端が、T u o h y - B o r s t バルブ / 回転止血バルブ (R H V) を
含むことを特徴とする装置。